

内視鏡情報管理システム

Endoscope Information System

仕 様 書

令和 2年1月

荒尾市民病院

## I 仕様書概要説明

### 1. 調達物品及び構成内訳

内視鏡情報管理システム 一式

#### 1) 内視鏡情報管理システム

- 1-1 内視鏡部門システム基本要件
- 1-2 ハードウェア基本要件
- 1-3 ソフトウェア基本要件
- 1-4 その他要件

### 3. 調達物品の一般的条件

納入する機器は、設置までの間に装置の仕様変更やソフトウェアのバージョンアップがあった場合には、最新の仕様で引き渡すこと。

### 4. 技術的要件の概要

- 1 本件調達物品に係る性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は別紙に示すとおりである。
- 2) 技術的要件は全て必須の要求要件である。
- 3) 必須の要求要件は当院が必要とする最低限の要求要件を示しており、入札機器の性能等がこれを満たしていないとの判定がなされた場合には不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- 4) 「技術的要件」に関して、本院より問合せを行う場合の回答に対して、ただ「できます」あるいは「対応可能」は不可とする。各要件ごとに具体的な実例、運用例（病院名等を含む）、あるいは機能例（操作手順等を含む）を列挙し、パッケージ版の基本仕様で可能なのか、カスタマイズが必要なのか等、具体的かつ詳細に解りやすく記載すること。また、説明および提出資料には必ず項番を振り、各要件ごとの回答と一対一に対応させること。記載不備の場合、あるいは本センターで判断ができないような回答の場合は、要件を満たしていないものと判定し不合格となり、落札決定の対象から除外する。
- 5) 入札機器の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、本院放射線情報管理システム（RIS）技術審査委員会が、入札機器に係る技術仕様書その他の入札説明書で求める提出資料の内容を審査して行う。

### 5. その他

#### 1) 仕様書に関する留意事項

- 1-1 入札機器のうち医療用具に関しては、入札時点で薬事法に定められている製造の承認を得ている物品であること。
- 1-2 医療用具以外に関しては、入札時点で製品化されていることを原則とする。  
ただし、入札時点で製品化されていない物品で応札する場合は、技術的要件を満たすことが可能な旨の説明書、開発計画書、納期に間に合うことの根拠を十分に説明できる資料及び確約書等を提出すること。

## 1. 内視鏡情報管理システム機能仕様

### 内視鏡情報管理システム 一式

#### 1-1 内視鏡部門システムとして以下の機能を有すること

- 1-1-1 内視鏡部門システムは1つのシステムで稼働し、将来的に生理検査部門システムとして拡張することが可能であり、以下に定める生理検査部門・内視鏡部門それぞれの仕様を満たすことができること。1つのシステムとは、同一メーカーにて開発され、1つのアーキテクチャ、1つのデータベース、で稼働することができるシステムであることを意味する。
- 1-1-2 生理検査部門システム・内視鏡部門システムを1つのシステムで稼働し、以下に定める生理検査部門・内視鏡部門それぞれの仕様を満たすこと。できない場合は、その仕様を満たす事ができるシステムを落札業者にて調達し、構築を行うこと。
- 1-1-3 生理検査部門、内視鏡部門から発生する画像に関しては、院内の既存PACSに保存し、システム連携を行うこと。システムの連携に関する費用は落札業者にて調達し、構築を行うこと。
- 1-1-4 生理検査部門、内視鏡部門から発生する検査結果・レポートは全て当院の検査統合参照システム（SYNAPSE SCOPE）に連携を行うこと。接続にかかるSCOPE側の費用は当部門システムの落札業者が負担すること。
- 1-1-5 生理検査部門、内視鏡部門から発生する検査結果・レポートは全て当院の検査統合参照システム（SYNAPSE SCOPE）に連携を行うこと。接続にあたってはSCOPE側のIFサーバの追加など無く、DBの直接連携を行うことで負荷なく対応できること。
- 1-1-6 生理検査部門、内視鏡部門から発生する検査結果・レポートは全て当院の検査統合参照システム（SYNAPSE SCOPE）に連携を行うこと。接続にかかるSCOPE側の費用は当部門システムの落札業者が負担すること。
- 1-1-7 生理検査部門、内視鏡部門から発生する検査結果・レポートは全て当院の検査統合参照システム（SYNAPSE SCOPE）に連携を行うこと。接続にあたってはSCOPE側のIFサーバの追加など無く、DBの直接連携を行うことで負荷なく対応できること。

#### 1-2 ハードウェア基本要件は以下の機能を有すること

- 1-2-1 【CPU】 Intel Xeon E-2144G 3.6GHz, 8M キャッシュ, 4C/8T, 9-ホ (71W)
- 1-2-2 【メモリ】 (8GB 2666MT/s DDR4 ECC UDIMM)×2
- 1-2-3 【RAIDコントローラ】 PERC H730P RAID コントローラ, 2GB NV
- 1-2-4 【HDD】 (600GB 10K RPM SAS 12Gbps 512n 2.5インチ ホットプラグ ハードドライブ)×6
- 1-2-5 【ドライブ】 DVD +/-RW, SATA, 内蔵
- 1-2-6 【RDx】 PowerVault RD1000
- 1-2-7 【NIC】 オンボード : 1000Base-T(Broadcom 5720) ×2
- 1-2-8 【電源冗長】 あり (ホットプラグ対応)
- 1-2-9 【OS】 Windows Server 2016 Std. 日本語版
- 1-2-10 【リモートメンテソフト】 LAPLINK 14 (インターコム)
- 1-2-11 【データベースソフト】 Oracle Database 11g R2 Std. One
- 1-2-12 【バックアップソフト】 BackupExec20 SERVER EXP-S BM1年付
- 1-2-13 無停電電源装置はサーバ本体を5分以上バックアップする機能を有すること
- 1-2-14 無停電電源装置は停電を感知し、異常信号をサーバ装置本体へ通知する機能を有すること
- 1-2-15 画像取込端末4台及びバーコードリーダ4式を有し下記機能を満たすこと
- 1-2-16 映像入出力端子はDVI、S-Video、コンポジット、HD-SDI、SD-SDIに対応していること。
- 1-2-17 画像をすばやく取り込むことができ、1検査600枚以上の画像記録が行えること。
- 1-2-18 10/100/1000Base-TXのネットワークインターフェースを有していること。
- 1-2-19 記録画像サイズは640×480 (NTSCサイズ)~1920×1080(ハイビジョンサイズ)及びSVGA、XGA、SXGAの各種サイズに対応していること。
- 1-2-20 画像ファイル形式は、静止画：JPEG、TIFF(非圧縮モード)に対応していること。
- 1-2-21 画像記録保存用に500GB以上のハードディスクを内蔵していること。
- 1-2-22 電気的安全規格に準拠していること。
- 1-2-23 装置の形状はコンパクトなユニット型で各アナログ出力装置に、本装置が1台接続されること。
- 1-2-24 受信した画像をDICOMに変換し、画像サーバ (PACS) に送信することができること。
- 1-2-25 MWM接続・MPPS接続に対応していること。
- 1-2-26 検査の「開始」「終了」については付属のタッチパネルなどのデバイスで簡単に操作が行えること。
- 1-2-27 付属のタッチパネルを使用し、画像サーバに送信する画像、送信しない画像を選択することができること。
- 1-2-28 画像データはデータ管理装置に転送後も内蔵ハードディスク内に一定期間保存されること。
- 1-2-29 ネットワークから切り離して移動先で本装置単体でも画像記録ができ、データ管理装置と再接続された際には記録データを自動的に送信・登録する機能を有すること。
- 1-2-30 本機器のエラー発生時には、メッセージ表示及び音声でエラー状態を通知できること。
- 1-2-31 内視鏡検査などにおいて、オプション機能として動画ファイルの取得が可能であること。動画形式はH.264に対応すること。

#### 1-3 ソフトウェア基本要件は以下の機能を有すること

- 1-3-1 クライアントライセンス 5式
- 1-3-1-1 クライアントライセンスはシングルサインオンに対応し既存電子カルテ (富士通) 端末に相乗りが可能なこと。
- 1-3-2 受付・ワークリスト管理
- 1-3-2-1 検査予約、依頼済みの患者リストを表示する機能を有すること。
- 1-3-2-2 ワークフローの進捗にあわせて以下の進捗が管理でき、アイコンや色+文字列などの区別で簡易に状況が確認できること。  
未受付・受付済・問診入力済・前処置入力済・検査中・検査終了・所見作成・所見仮保存・所見作成中・所見作成完了
- 1-3-2-3 検査オーダーを選択し、受付を行うことが可能であること。受付操作をした際、受付票の印刷が自動的に行えること。
- 1-3-2-4 入院患者を電話呼び出しした際、電話呼び出しが完了したことをワークリスト中に明示することができること。
- 1-3-2-5 ワークリスト上で簡易に受付コメントの入力が可能であること。
- 1-3-2-6 ワークリスト画面上に以下の内容を表示することができること。また表示非表示はユーザー側で変更が可能であること。  
患者ID・氏名・性別・生年月日・身長・体重・電話呼出・進捗ステータス・検査項目・検査内容・受付コメント・緊急・臨床診断・主訴・検査目的・特記事項・禁忌・患者呼出時刻・受付時刻・検査開始時刻・検査終了時刻・病棟・依頼医
- 1-3-2-7 ワークリスト画面上から簡易に、予約詳細を確認することが可能であること
- 1-3-2-8 ワークリスト上で、検査項目・患者ID・患者氏名・検査年月日・検査ステータス情報による検索が可能であること。
- 1-3-2-9 ワークリストの表示において端末毎でのデフォルト設定が可能であること。
- 1-3-2-10 病院情報システムダウン時に備え、生理機能検査依頼情報を作成・登録し検査を続行する機能を有すること。
- 1-3-2-11 部屋割の機能を有すること。

- 1-3-2-12 部屋割機能は専用のGUIを有し、受付済ワークリスト上の検査を部屋枠にドラッグ&ドロップすることで簡易に部屋割りが実現すること。
- 1-3-2-13 部屋割情報と内視鏡装置に接続された画像取込機器は連携し、患者属性連携に用いることが可能であること。
- 1-3-2-14 部屋割機能により、検査だけではなく、医師、看護師、技師の割付も同様の操作（氏名アイコンを用いドラッグ&ドロップ）で割付が可能であること。
- 1-3-2-15 割付た医師、看護師、技師はレポート上に反映させることができること。
- 1-3-3 所見登録機能
- 1-3-3-1 検査後の検査レポート作成が行えること。
- 1-3-3-2 検査レポートはWEBレポート形式をとっており、院内ネットワークに接続された電子カルテ端末上どこからでも記載が可能であること。
- 1-3-3-3 内視鏡レポートは以下の項目を含む検査レポートが作成できること  
患者ID、患者名、性別、生年月日、年齢、検査実施年月日、検査者名、検査装置種別、機種名、検査実施項目、検査部位、病変部位、所見名、診断名、処置、コメント、検査画像、シエーマ図、ピロリ菌検査、挿入方式、到達部位
- 1-3-3-4 レポートはセキュリティの担保とトレーサビリティの担保のため版管理を行うことができること
- 1-3-3-5 確定レポートに関して編集をする場合は、次版作成とし、これまで作成された確定レポートは全て版ごとに保存されていることまた、過去に作成された版番号のレポートをレポート作成中に同一端末にてすぐに参照することができること。
- 1-3-3-6 同一検査項目の直近過去データを1クリックで転記することが可能であること。
- 1-3-3-7 キー画像の選択がドラッグ&ドロップの操作で可能であること。
- 1-3-3-8 既存放射線科システム上に保存されたX線及びMRIなどの画像も内視鏡画像と同様のドラッグ&ドロップ操作で添付可能であること。
- 1-3-3-9 レポートに添付されたキー画像をダブルクリックすることで、添付されたものと同一のimg noのデータを画像Viewer上に展開され、参照することが可能であること。
- 1-3-3-10 キー画像のレポートへの添付は10枚以上行えること
- 1-3-3-11 内視鏡レポートはマスタ入力式を採用していること。マスタは病院毎に修正・カスタマイズが可能であること。ただし、サンプルマスタをベンダ側から提供し、そのマスタを元に修正を行うこと。
- 1-3-3-12 サンプルマスタの質確保のため、マスタ形式での内視鏡特化レポートの導入実績を300施設以上行っていること。
- 1-3-3-13 マスタ入力機能として以下の機能を有すること。  
部位、診断、所見の順に紐付の階層となっていること。マスタはプルダウン式の展開ではなく、階層での用語表示が可能であること。処置・バイオプシについてもマスタ入力が可能であること。
- 1-3-3-14 部位は部位名+詳細部位の提示が可能であること。詳細部位は3階層+補足の階層を有すること。詳細部位は部位名に紐付きをしており、入力された部位に連動し、必要な詳細部位のみが表示されること
- 1-3-3-15 診断は部位の入力により、該当部位に発生する診断名のみを絞り込み表示すること。  
診断名は4階層+補足で分類することが可能であること。診断名中の階層は全て相互に連動し、絞り込み表示ができること。
- 1-3-3-16 所見は診断の入力により、該当する診断を表す所見項目の未が表示されること。  
所見項目の分類により、単数選択・複数選択の設定が可能であること。所見項目は必要な数設けることができること。
- 1-3-3-17 同一患者の過去レポートを自動的に読み込み、タブ切り替えで簡単に過去レポートの表示が行えること。
- 1-3-3-18 所見・コメント内容の定型文は、ユーザが自由に追加・修正・削除出来る機能を有すること。
- 1-3-3-19 所見・コメント内容の定型文は、複数テキストを選択した場合、選択したテキスト同士の区切りを改行、コンマ、スペースのいずれかで選択できること。
- 1-3-3-20 異常なし患者の場合は、ワンクリックにて、上部検査であれば「食道・胃・十二指腸」などの部位項目が「全て異常なし」登録されること。
- 1-3-3-21 検査種別毎にシエーマを保有できること。
- 1-3-3-22 シエーマの検査レポートへの添付が可能であること。
- 1-3-3-23 シエーマの追加が可能であること。
- 1-3-3-24 仮保存状態の検査レポート（未完了検査も含む）は、レポート上仮保存状態であることを明示したうえで配信が可能なこと。
- 1-3-3-25 一時保存状態を持ち、院内に配信しない状態で保存ができること。
- 1-3-3-26 病院情報システムから、患者ID連携により該当患者の検査履歴を検索表示する機能を有すること。
- 1-3-3-27 病院情報システムから、オーダ番号により該当レポートを直接参照可能な機能を有すること。
- 1-3-3-28 合併症、偶発症の登録が可能であること
- 1-3-3-29 シエーマ、画像を問わず以下のアノテーションが利用できること。  
直線、円、矩形、矢印、文字入力、色、修正ペン（オリジナルシエーマの修正）、消しゴム
- 1-3-3-30 アノテーション機能の自由線描画はドロー系ではなくベイント系を採用し、任意の曲線が記載できること。
- 1-3-3-31 マスタ入力された診断・所見・処置での検索が可能であること
- 1-3-3-32 内視鏡レポート内に、病理診断を記載できること。
- 1-3-3-33 内視鏡レポートのコメント内に、使用した薬剤を転記できるエリアを設けること
- 1-3-3-34 各種検査レポートがレーザープリンタなどで出力できる機能を有すること。印刷フォーマットは検査項目毎に設定でき、レポートを入力するためのフォーマットとは区別されること
- 1-3-3-35 レポートソフトウェアはバージョンアップ管理や、本システムを更新する際のデータ移行を鑑み、データ移行が現実的に困難なFile Maker等の汎用ソフトウェアではなく、メーカーが開発し、保証するプロダクトとしてのレポートソフトウェアであること。
- 1-3-4 検索・集計・統計
- 1-3-4-1 検査日報を指定された書式で印刷する機能を有すること。
- 1-3-4-2 検査月報を指定された書式で印刷する機能を有すること。
- 1-3-4-3 検査年報を指定された書式で印刷する機能を有すること。
- 1-3-4-4 診断名などのテキスト情報での検索を実施できること。
- 1-4 その他要件は以下の機能を有すること
- 1-4-1 病院情報システム連携機能
- 1-4-1-1 連携サーバを介して、病院情報システムと通信を行う機能を有すること。
- 1-4-1-2 病院情報システムから検査依頼情報を受信し、検査状態を依頼中としてデータベースに格納する機能を有すること
- 1-4-1-3 病院情報システムから検査依頼訂正情報を受信し、該当検査内容を更新する機能を有すること。
- 1-4-1-4 病院情報システムシステムから検査キャンセル情報を受信し、該当検査を削除する機能を有すること。

- 1-4-1-5 検査受付操作時、病院情報システムへ検査受付情報を送信する機能を有すること。
- 1-4-1-6 検査中止操作時、病院情報システムへ検査中止情報を送信する機能を有すること。
- 1-4-1-7 検査前状態操作時、必要に応じ病院情報システムへ検査進捗情報を送信する機能を有すること。
- 1-4-1-8 検査報告書内容をWebサーバから病院情報システムへWeb配信する機能を有すること。
- 1-4-1-9 病院情報システムダウン時、送信情報を保留・蓄積し病院情報システム復旧後一括して保留していたデータを送信する機能を有すること。
- 1-4-2 **保守・実績**
- 1-4-2-1 生理検査領域における、大学病院への導入が10施設以上あること
- 1-4-2-2 内視鏡領域における、大学病院への導入が30施設以上あること
- 1-4-2-3 生理検査専用の運用システムとして50施設以上の実績があること
- 1-4-2-4 内視鏡領域専用の運用システムとして500施設以上の実績があること
- 1-4-2-5 導入後、無償期間を1年とすること。
- 1-4-2-6 迅速なサポート体制を実現するため、熊本市内にサービスステーションを有していること。
- 1-4-2-7 操作マニュアルは全ての機器について、日本語版を有すること

(性能、機能以外に関する要件)

## 1. 設置要件

### 1-1 設置場所

1-1-1 本システムは、当院指定場所に設置すること。

### 1-2 設置要件

1-2-1 今回調達の機器を安定稼働させるため、また業務全般に亘る作業効率の向上と作業環境改善のために必要な改修が発生する場合は、当院担当者と協議の上、必要な改修の協議に提案を行うこと。

1-2-2 当院用意した1次側設備（空調設備、電気設備、給排水設備）以外に必要な1次側設備等があれば、当院担当者と協議の上、必要な改修の協議に提案を行うこと。

1-2-3 今回調達の機器を当院指定の設置場所にて稼働させるために、必要な配線等（電源及びLAN）の設備変更または増設の提案を行うこと。

1-2-4 当院が用意する空調設備以上の冷房能力を必要とする場合には設備変更指示を行うこと。

1-2-5 障害発生時のリモートメンテナンスのために必要な通信設備に関わる費用は本調達に含むものとする。

### 1-3 撤去、搬入、据付、配線及び調整

1-3-1 本調達機器の設置に関し機器の搬入、据付、配線、配管、調整及び設置工事に伴う床面等の修復は本調達に含まれる。

#### 1-3-2

撤去、搬入、据付にあたっては必要な養生をし、建物および物品などに損傷を与えないように十分に配慮すること。万が一損傷をきたした場合には、供給者が責任を持って現状復帰すること。

1-3-3 機器の搬入、据付、配線、配管、調整については、当院の診療業務に支障をきたさないよう、当院の職員と協議の上その指示によること。

1-3-4 設置工事は納入予定日、工事予定期間を事前に当院担当者と打ち合わせ、そのスケジュールに従い完了すること。

## 2. 守秘義務

### 2-1 セキュリティに関する守秘義務

2-1-1 契約者は本システムの導入、保守等に携わる全ての作業員（契約者が下請けする業者も含む）に以下のポリシーを理解させ、それを遵守し作業すること。

2-1-2 本システムに係わるセキュリティ情報については守秘事項とする。

2-1-3 セキュリティ情報とは、システム設定、ネットワーク設定、認証、利用者情報等に関するもので、電子化ドキュメント、印刷ドキュメント、口頭伝達情報もこれに含むものとする。

2-1-4 前項セキュリティ情報を利用して、本システムを不正に使用してはならない。

### 2-2 システム内のデータに関する守秘義務

2-2-1 本システム内に保存されている、画像、その他患者のプライベートに係わる情報も守秘事項とする。

2-2-2 本センター担当者が許可する場合を除き、守秘事項を本センター外に持ち出すことを禁ずる。PC内部や記憶媒体での持ち出し、ネットワーク経由の転送、ダウンロード、また口外することも禁止する。

2-2-3 調達する全てのハードウェアについて保守交換する場合、いかなる方法によってもデータを復元することが不可能な状態で撤去すること。

2-2-4 本センター担当者が許可する場合を除き、外部から持ち込んだ機器を接続すること、電話回線やインターネット等を通じて外部から接続することを禁ずる。また、電話回線やインターネット等からのアクセス時に使用するアクセス認証に係わる情報を他に漏洩してはならない。その情報は盗難や漏洩が起きることのないように管理すること。

### 3. 障害支援体制

#### 3-1 障害支援体制については、以下の要件を満たすこと。

- 3-1-1 年間を通じて24時間体制のコールセンターを設置していること。
- 3-1-2 障害発生時の一時対処のため、リモートメンテナンスを行うこと。
- 3-1-3 障害発生時には通報を受けてから2時間以内に現場対応ができる体制であること。ただし、リモートメンテナンスでは即刻対応できる体制であること。
- 3-1-4 サービス拠点には、5名以上のサービス専門の人員を確保すること。
- 3-1-5 サービス拠点には、5年以上の経験者を3名以上のサービス専門の人員を確保すること。
- 3-1-6 医療機器修理業専門講習修了者を3名以上確保すること。
- 3-1-7 主要サーバに関するパーツ供給は、ハードウェアベンダに対して供給可能な体制であること。いわゆるプレミアムサポートなど今調達ベンダーは当院に対して適切な体制を配慮すること。
- 3-1-8 障害発生時の対応マニュアルを作成し、本センター担当者に提出すること。
- 3-1-9 システム稼働後は、週1回リモート監視を実施し月に一度リモートメンテナンス報告書を提出すること。尚、他の導入実績の施設において対応実績があること。

### 4. 保守管理体制

#### 4-1 保守管理については以下の要件を満たすこと。

- 4-1-1 導入後一年間のハードウェア保守管理費用は本調達に含むこと。
- 4-1 保守体制については、以下の要件を満たすこと。
  - 4-2-1 システムの安定稼働のために技術的サポート体制が整備されていること。
  - 4-2-2 保守はフルメンテナンスであること。
  - 4-2-3 保守の中に、ソフトウェアのバージョンアップを含むこと。また、実績を証明すること。

### 5. その他

#### 5-1 マニュアル、操作訓練体制等

- 5-1-1 当院の指定に応じて操作説明会を実施すること。
- 5-1-2 本システムのマニュアルは、クイックマニュアルなど簡便に操作が分かる資料を用意すること。
- 5-1-3 バージョンアップ等により操作方法に変更が生じた場合には、その都度変更部分のみ最新版に差し替え納入すること。
- 5-1-4 本システムの安定稼働後、本調達の機器構成およびネットワーク構成図を紙および電子化ドキュメントとして当院担当者に提出すること。また、このドキュメントは機器構成あるいはネットワーク構成に変更があった場合にも、その都度最新版を提出すること。

## 内視鏡情報管理システムハードウェア構成仕様書

内視鏡情報管理システム一式について詳細構成は下記の通りとする。

### 1 内視鏡情報管理システム 1式

#### 1.1 データベースサーバ MEX-DB (ラック型)

##### 1.1.1 サーバー本体

1.1.1.1 【CPU】 Intel Xeon E-2144G 3.6GHz, 8M キャッシュ, 4C/8T, ターボ (71W)

1.1.1.2 【メモリ】 (8GB 2666MT/s DDR4 ECC UDIMM) × 2

1.1.1.3 【RAID コントローラ】 PERC H730P RAID コントローラ, 2GB NV キャッシュ, アダプタ, フルハイト

1.1.1.4 【HDD 構成】 (600GB 10K RPM SAS 12Gbps 512n 2.5 インチ ホット-プラグ ハードドライブ) × 6

1.1.1.5 【RAID 構成】 RAID5 + HS

1.1.1.6 【DVD ドライブ】 DVD +/-RW, SATA, 内蔵

1.1.1.7 【NIC】 オンボード : 1000Base-T (Broadcom 5720) x2

1.1.1.8 【電源】 デュアル, ホットプラグ, 冗長 電源ユニット 1+1, 495W

1.1.1.9 【電源ケーブル】 Deskside 電源ケーブル, 125V, 15A, 2M (日本)

1.1.1.10 【バックアップ】 なし

1.1.1.11 【COM ポート】 標準搭載

1.1.1.12 【OS】 Windows Server 2016 Std. 日本語版 (5DEVICE CAL)

1.1.1.13 【OS メディア】 Windows Server 2016 Std メディア

##### 1.1.2 外付け RDX

1.1.2.1 タペルゲデータ RDX QuikStor External drive, USB3+ (7.3年センドバック保守込み) ※本製品は7年保守固定 (型番: RDX-USB3EXT-8782)

##### 1.1.3 外付け RDX 用電源アダプタ

1.1.3.1 タペルゲデータ RDX-External drive power supply (1年センドバック保守) (型番: 1022239)

##### 1.1.4 外付け HDD

1.1.4.1 ELECOM-1TB 外付 HDD (型番: ELD-CED010UBK)

##### 1.1.5 RDX カートリッジ

1.1.5.1 RDX NonSecure 2TB (RDX-2TB-8731)

##### 1.1.6 USB コンソールケーブル

1.1.6.1 Lenovo バーチャルメディア変換オプション Gen2 (型番: 46M5383)

##### 1.1.7 USB コンソールケーブル



1.1.7.1 ツイストペアケーブル 3m

## 1.2 UPS

1.2.1 15A UPS 本体 (増設バッテリーなし)

1.2.1.1 富士電機 (UPS 15A) PEN152J1RT/15

1.2.2 LAN ケーブル

1.2.2.1 ツイストペアケーブル 5m ブルー (RoHS 対応品) 薄青

## 1.3 ネットワーク機器

1.3.1 スイッチング HUB 8ポート

1.3.1.1 AT-GS910/8

1.3.1.2 AT-RKMT-JO8

## 1.4 クライアント端末

1.4.1 管理者用端末

1.4.1.1 【CPU】Intel Core i5-7200U (2.5-3.1GHz/3MB/2 コア(4 スレッド))

1.4.1.2 【メモリ】4GB SO-DIMM(DDR4-2400/1DIMM)

1.4.1.3 【HDD】500GB HDD 7200rpm(SATA II)

1.4.1.4 【光学ドライブ】HP USB 外付けスーパーマルチドライブ

1.4.1.5 【ビデオポート】HDMI ポート (1.4b)×1、アナログ RGB ミニ Dsub15  
ピン×1

1.4.1.6 【付属品】HP ビジネス USB レーザーマウス

## 1.5 画像取り込み端末

1.5.1 VT318D

1.5.2 VT-318 本体(変換コネクタ不添付) S/D 込み

1.5.2.1 ツイストペアケーブル 3m ブルー (RoHS 対応品) 薄青

1.5.2.2 EIZO VT-318 用タッチパネルモニタ(DuraVisionFDX1003T-GY)

1.5.2.3 FDX1003TJAGYFJA 用アダプタ(MPU64-105)

1.5.2.4 電源アダプタケーブル (サンワサプライ製)

## 2 内視鏡洗浄器

2.1 エンドクレンズ NEO 2台

2.2 エンドクレンズ NEO D-Advanced 1台

## 3 給湯給水補助加圧装置

3.1 商品名：ベビースイート (株式会社川本製作所) SFRW150S 3台

## 4 内視鏡洗浄履歴管理システム CLEMATIS

### 4.1 ソフトウェア

4.1.1 CLEMATIS DB用ソフトウェア 1

4.1.2 リモートソフトウェア 1

### 4.2 役務

4.2.1 CLEMATIS DB用タブレット構築・検証 1

4.2.2 エンドユーザー 1台 3

### 4.3 ハードウェア

4.3.1 CLEMATIS タブレット 1台

4.3.2 Bluetoothバーコードリーダー 1個

4.3.3 Bluetoothバーコードリーダー用充電台 1個

4.3.4 バックアップ用SDカード 1枚

4.3.5 洗浄消毒装置接続用USBハブ 1個

4.3.6 洗浄消毒装置接続用シリアルケーブル 4本

4.3.7 洗浄消毒装置接続用シリアル変換ケーブル 4本

4.3.8 フェライトコア 大 10個

4.3.9 フェライトコア 小 10個

4.3.10 ケーブル収納BOX 1個

4.3.11 ラベルプリンター 1台

4.3.12 テープラシール 5個

4.3.13 ACタップ4個口 2個

4.3.14 ACタップ3個口 2個

4.3.15 タブレット用ホルダー 1個

4.3.16 タブレット用スタンド 1個

4.3.17 リモート用ワイヤレスルーター 1個

4.3.18 リモート用端末 1個

4.3.19 無線LANルーター 2個

4.3.20 LAN変換アダプタ 1個

4.3.21 マウス 1個

4.3.22 備品箱 1個

## 軟性内視鏡用洗浄消毒器 エンドクレンズ Neo 仕様書

軟性内視鏡用洗浄消毒器は、以下の要件を満たすこと。

- 洗浄時間、消毒時間、送気時間を任意で変更できること。
- 工程時間のプログラムを3種類以上設定できること。
- 消毒タンクに投入されている消毒剤の情報を確認することができること。
- 本体の外寸法は、幅 450mm×奥行 810mm×高さ 1000mm 以内であること。
- 本体の乾燥重量は 80kg 以下であること。
- 消毒薬の使用量は 16L 以下で運転する機能を有すること。
- 洗浄方法は過流+洗浄剤による洗浄であること。
- 送気工程においてアルコールフラッシュの有無を設定することができること。
- フィルターの使用日数から、交換時期が近付いていることをアラームとしてお知らせする機能を有すること
- 洗浄消毒履歴を 300 件以上登録できること
- 定格電圧は単相 100V であること
- 最大消費電力は 800VA 以内であること
- EMC 規格に適合していること
- 排水方法はポンプによる強制排水であること
- アルコール送液はポンプによる自動送液・除液であること

軟性内視鏡用洗浄消毒器 エンドクレンズ Neo-D Advanced 入札仕様

軟性内視鏡用洗浄消毒器は、以下の要件を満たすこと。

- 洗浄時間、消毒時間、送気時間を任意で変更できること。
- 工程時間のプログラムを3種類以上設定できること。
- 消毒タンクに投入されている消毒剤の情報を確認することができること。
- 本体の外寸法は、幅 530mm×奥行 830mm×高さ 1000mm 以内であること。
- 本体の乾燥重量は 90kg 以下であること。
- 消毒薬の使用量は 16L 以下で運転する機能を有すること。
- 洗浄方法は過流+洗浄剤による洗浄であること。
- 送気工程においてアルコールフラッシュの有無を設定することができること。
- フィルターの使用日数から、交換時期が近付いていることをアラームとしてお知らせする機能を有すること
- 洗浄消毒履歴を 300 件以上登録できること
- 定格電圧は単相 100V であること
- 最大消費電力は 800VA 以内であること
- EMC 規格に適合していること
- 排水方法はポンプによる強制排水であること
- アルコール送液はポンプによる自動送液・除液であること

## 内視鏡洗浄履歴管理システム 要求仕様書

- 軟性内視鏡（以下、スコープ）の洗浄履歴を管理する機能を有すること。
- 【消化器内視鏡の感染制御に関するマルチソサエティ実践ガイド】の【V.洗浄消毒の履歴管理】に記載のある項目の記録が可能であること。
- 洗浄消毒の履歴管理を行うシステムは、タッチパネルなどを利用したタブレット PC で構築すること。
- タブレット PC は耐薬仕様（エタノール、イソプロピルアルコール、次亜塩素酸ナトリウム）での提供が可能であること。
- 患者情報、スコープ情報の取得はバーコードリーダーを使用し、1次元バーコードより取得が可能であること
- 用手洗浄担当者、拭き上げ（取り上げ）担当者の記録を残すことが可能であること。
- 故障発生から修理、廃棄等の記録管理できる機能を有すること。
- 消耗品の交換履歴の管理が可能であること。
- 消耗品の交換時期を事前に通知することが可能であること。
- タブレット PC 上にスコープ毎に異なる注意喚起情報を表示することが可能であること。
- タブレット PC 上にスコープの最終洗浄日から任意に設定した期間洗浄されていなかった場合、最終洗浄から何日経過したかを表示することができる。
- 洗浄履歴データを修正する場合、ユーザーマスターにて権限を付与したユーザーのみ修正が可能であること。
- 洗浄履歴データを修正した場合、一目で修正されたデータであることが確認出来、且つ、誰が、どの項目を、どのように修正したか記録を残すことが可能であること。
- 使用薬剤、定期交換を必要とする消耗品の交換履歴の管理が可能であること。

- 洗浄履歴データ、マスターデータのバックアップを任意に設定した時間に自動で行えること。
- ASP Japan 合同会社社のエンドクレンズシリーズと接続でき、内部情報を正確に取り込む機能を有すること。
- エンドクレンズシリーズと接続でき、洗浄器側の開始操作と連動し、履歴システム側の開始操作することなく自動でシステム（タブレット PC の画面）上のタイマーが動作すること。
- エンドクレンズシリーズがエラーで停止した際は、その情報をリアルタイムでシステム（タブレットの画面）上に情報表示できる機能を有すること。
- エンドクレンズ NEO、NEO-D では、使用した消毒剤の製造情報を洗浄消毒の履歴情報に紐付けて一元的に管理できる機能を有すること。